



校章の笹竜胆（ささりんどう）は、箕田源氏の旗印です

ささりんどう

〔学校教育目標〕 ～感動し、共に喜びあえる児童の育成～

鴻巣市立箕田小学校 学校だより
令和6年10月1日

児童数
男子 122名
女子 138名
合計 260名



「さん」付けで呼ぶ

～相手を大事にする、そして自分も大事にする～

校長 清水 良江

自主的な活動をする「箕田っ子ボランティア隊」が、先日、花の種を植えました。「ボランティア隊」は、日ごろから草を取ったり、枯山水を整備したり、あいさつ運動を行ったりと自主的な活動を行っています。種まきは、もっと箕田小に花を増やしたいという私の思いに応え、ボランティア隊が手伝ってくれました。学校のため、箕田っ子みんなのために何かをやろうとする姿はとても素晴らしいと思います。ちょっとした隙間時間を見つけてはボランティアとして活動していく。活動はなかなか大変だとは思いますが、「気付き行動する」ことを目指して、ぜひ頑張ってください。

さて、昨年度は主に「挨拶」と下駄箱の「くつぞろえ」を重点に声かけをしてきました。「挨拶」についてはだいぶできるようになり、くつぞろえも下駄箱にかかとをそろえて意識して入れるようになってきました。しかし学校外での「挨拶」についてはあまりできておらず課題が残りました。そこで、今年度は「挨拶」の中に「自分から」という視点を加え、学校内外にかかわらず、引き続き見届けていくことにしました。さらに呼ばれた時の「返事」と名前を呼ぶ時の「さん」付けにも力を入れることとし、5月の校長講話では、以下の質問を全校児童に投げかけ、アンケートを取りました。

- 1 毎朝、担任の先生に自分からあいさつができていますか。
- 2 毎朝、道で立ってくださっているおうちの方や安全ボランティアさんに、自分からあいさつができていますか。
- 3 毎日、学校で出会う先生方やお客様に、自分からあいさつができていますか。
- 4 授業中や休み時間に、先生から名前を呼ばれたら、かならず「はい」と返事をしていますか。
- 5 お友達の名前をかならず「さん」をつけて呼んでいますか。（～くん、～ちゃんでも可）

7月にも、その後の経過を見るために再度調査を行っています。

1番から3番の「挨拶」については、「自分から」という文言が入り、昨年よりもハードルを上げましたが、何とか約7～8割の児童が「はい」と答えていました。それでもまだまだです。特に2番のあいさつは、今も課題があるようです。4番の「返事」については、約9割の児童ができていますと答えました。問題は5番です。友達への「さん」付けについては、5月で69%、7月でも74%でした。他の項目と比べるとかなり低い割合です。学年やクラスによっても差がありました。上学年にいくにつれて、割合は低くなっていました。なぜでしょう。

友達を呼ぶ時は、名前を「呼び捨て」で呼ぶのではなく「～さん」と付けて呼んでほしいと思っています。「～さん」は、男女にかかわらず共通した呼称であり、相手を尊重する言い方です。相手を大事にすることで、教室内・学校内に温かな人間関係が生まれます。そこには心理的な安心感も生まれることでしょう。親しみを込めてあだ名やニックネームで呼ぶこともありますが、相手がその呼び方を承認しているのであればそれでもよいと思います。いずれにせよ口から発する言葉は「その人の心」を表します。丁寧に人を呼ぶことで相手を尊重し、自然と使う言葉も「です」「ます」調に変わり、全体が温かな雰囲気になります。呼び捨てをなくし、相手も自分も大事にできる人になってほしいと思います。お互いが気持ちのよい環境の中で安心して過ごせてこそ、一人一人の力も発揮されると思います。

「睡眠不足」は体内時計を乱し、悪影響！ ～睡眠習慣を整えるには、「早く起きる」ことからスタート～

小学生の理想の睡眠時間は9～12時間（厚生労働省「健康づくりのための睡眠指針の改訂に関する検討会」）です。寝る時間が遅くなると、睡眠不足につながります。また週末などに寝だめをしてしまうと、生活リズムが崩れてしまい、体内時計を乱し、次のような悪影響を及ぼします。**記憶力の低下、集中力の低下、免疫力の低下、情緒が不安定になりやすくなる、肥満**などです。睡眠習慣を整えるには、まずは「早く起きる」ことからスタートするとよいそうです。日の光を浴び、朝ごはんをしっかり食べ、日中は体を動かし、適度に体を疲れさせることで、自然と早い時間に寝られるようになってきます。